

シーンⅢー9 クリーンエネルギー利活用実践推進事業

事業目的

県立の専門高校において、資源やエネルギーの有限性と環境問題を再認識し、クリーンエネルギーの利活用などに関する実践的な学習をとおし、地球規模の視点に立って、環境の保全やエネルギー制約などの課題に対応できる職業人の育成を目指します。

事業効果

CO2削減効果	1.4 t-CO2
その他(実践学校数)	4校

事業内容

事業費 5,100千円

対象校 水産高校

内容 ・太陽光発電システムの導入

・上記施設を活用した植物プランクトン培養施設での有効活用に関する学習



その他（平成24年度からの研究の継続）

○黒川高校「クリーンエネルギーを活用した実践的な環境教育」

太陽光発電における発電条件の研究や地域企業と連携したLED街路灯の開発

○加美農業高校「環境を意識したエコロジカルスクールファーム作りへの取組」

太陽光発電による環境対応型ハウスを題材とした研究

○伊具高校、白石工業高校「風力発電システムの導入と発電モーター、風速と発電量に関する学習」

風力及び太陽光によるハイブリッド型発電装置等での発電条件の研究



平成25年度 実践報告から(加美農業高校の活動)

【主な研究内容】

- 太陽光発電によるハウス内温度制御等の研究
- 2重被膜ハウスによる環境低負荷型農業の実践
- 地域児童等との環境学習による連携の促進

【主な成果】

- 発電量はハウス内各種制御をカバーできることを確認した。今後は、蓄電池による24時間型ハウスを考えていきたい。
- 各種発表大会で受賞するなど、生徒の学習意欲が高まり知識が深化した。
- 地域児童等と連携した学習体制が確立され、地域に根ざした環境教育を深めることができた。



現状

○地球温暖化防止対策は、国・地域をあげて真剣に取り組むべき切実な課題であり、早い年齢からクリーンエネルギーの利活用などに関する実践的な学習が必要です。

税導入後のイメージ

○専門高校で、実際にクリーンエネルギーを使いながら、実践的な学習を実施することが可能です。

